

## 第2回推進委員会ワークショップ キーワード一覧

第2回ワークショップで作成した模造紙において、キーワード同士で相関性が記載されているものは、「⇒」を使用しています。

区分	キーワード
市民活動	市民活動には定義はない
市民活動	平和・コミュニティづくり・こころの安定・まちおこしも活動
市民活動	市民というキャリア
市民活動	地域の生活を安心安全なものにするのに何らかの役割を果たしている
市民活動	見回りとかも含む
市民活動	市民活動の認知
市民活動	ろうの子どもたちの支援
市民活動	マンションでもちつきおみこし（自治会）
市民活動	言われてやるものではない
市民活動	言われてやるものではない
市民活動	市民活動が成長していく
市民活動	市民活動に求められること
市民活動	文化活動・個人がやること
市民活動	サークルと市民活動の違いは、やり続けること
市民活動	境界線がない
市民活動	好きなことをやり続けて社会性が出てくる ⇒ それが市民活動？
市民活動	市民活動という意識がない
市民活動	市民活動としての意識はない
市民活動	市民活動って何？くくりがわからない
市民活動	市民活動と意識する必要はない
仕組み	ルールづくり
仕組み	ルールを作る
仕組み	（京都の地蔵盆）人工的でもつくるべきか ルール ⇒ 文化＝ルール
仕組み	規約づくりどうしてる？
仕組み	フットワークの軽さは利点
仕組み	サークル活動 ⇒ 発展性・社会性・公共性
仕組み	サークル閉鎖的
仕組み	しくみを起ち上げる時にしっかり
仕組み	型にはまるまでが大変
仕組み	気持ちよく活動するためには
仕組み	若い人が少なくして事業がまわせない ⇒ ミドル世代が参加する
仕組み	個性的 ⇒ 個性を活かす
仕組み	適正な規模感
仕組み	良い関係ができない仕組み
仕組み	市民活動・運営術のセミナー
仕組み	地域の広さ・集まりやすい広さ
団体の活動目的・理念	会員主体
団体の活動目的・理念	会員のための会員の団体
団体の活動目的・理念	誰かの役に立てる
団体の活動目的・理念	スタンダードモデルばかりでマイノリティが取り上げられていない
団体の活動目的・理念	テーマメンバーがマジョリティのみ国籍・性・人権・ルーツ・障害は死活問題
団体の活動目的・理念	そんなものがテーマになるのか！（テーマが分からない）
団体の活動目的・理念	社会から切り離されている人がいる
団体の活動目的・理念	当事者手を挙げづらい ⇒ 手を上げられない人をどう拾うか
団体の活動目的・理念	やろうと思ったことをやればよい
団体の活動目的・理念	理念「何のために」
団体の活動目的・理念	理念を常日頃いうのはうっとおしい
団体の活動目的・理念	テーマが不明 ⇒ 外から提案提示するといひ
団体の活動目的・理念	理念がない ⇒ 行政がテーマを例示する
団体の活動目的・理念	市の方針の影響
団体の活動目的・理念	何かをやる必要がある ⇒ 人が人を呼ぶ

団体の活動目的・理念	S D G s 取り残すな
団体の活動目的・理念	SDGs
団体の活動目的・理念	土台の認識がない
団体の活動目的・理念	柱がない
団体の活動目的・理念	ぶれない軸が必要
団体の活動目的・理念	やりはじめは上手くいく
団体の活動目的・理念	(上手くいってないこと) 理念の継承が難しい ⇒ 理念を達成したら解散もあり
団体の活動目的・理念	目的を達成すれば解散もあり得る
団体の活動目的・理念	方向性の違い ⇒ 役割の負担感みんなできるに
団体の活動目的・理念	町への関心
団体の活動目的・理念	子どもの笑顔
団体の活動目的・理念	喜びがある
団体の活動目的・理念	楽しもう!
参加者	自然に人が人を集める
参加者	自己実現
参加者	フレームー新規参入
参加者	信用を得る難しさ ⇒ とにかく実績を積んで新規参入
参加者	後から入ってきた人とスタートメンバーの関係・役割づくり
参加者	人が人を呼ぶそば打ち団体50団体参加者1,000人
参加者	見沼田んぼのみが財・場所を提供する人・参加する人
参加者	期待してもらったことと何かずれがある
参加者	仲間がいない ⇒ 仲間がいる
参加者	新規参入の難しさがある
参加者	顔を合わせることが重要
参加者	会員の引き留め
参加者	参加者を育てる
参加者	じぶんごとじゃない ⇒ 積極性・自主性
参加者	役員がくじびき
参加者	自主性がない
参加者	(見沼田んぼ) ○担い手・×手伝い
参加者	無給・有給の線引き
参加者	自分事として考えてほしい
参加者	参加者の自立性
参加者	個人の背景の変化
継続性	(京都の地藏盆) 好き ⇒ 文化(活動)継承
継続性	(京都の地藏盆) 子どもの楽しい思い出
継続性	(京都の地藏盆) 蓄積と楽しい思い出
継続性	好きなことを続ければよい
継続性	趣味⇒文化に
継続性	会費ではなく事業
継続性	実績を作る
継続性	とりあえずやる
継続性	時間をかけると理解される
継続性	自分のサークルの中で終わってしまう
継続性	成熟 ⇒ 法律・制度
継続性	本気でやる ⇒ 信頼
継続性	大きな声 ⇒ 制度や法律になる(言語(アメリカ手話))
継続性	市民活動 ⇒ N P O
継続性	自由文化活動 ⇒ 文化の継承
継続性	制度化早くしたい
継続性	将来性が大事
継続性	市民活動団体 ⇒ 市や県に継続
継続性	楽しむ
継続性	継続

継続性	ゆるい=継続しにくい？
継続性	モチベーション大事
継続性	モチベーション
交流・連携	知らない人に知り合える
交流・連携	人がつながっていく
交流・連携	社会性により可能性が広がる
交流・連携	他の人へのかかわり・自主性
交流・連携	学びでコミュニティづくり
交流・連携	人と喋る機会があるのは楽しい
交流・連携	ニーズの接点をつなぐ方法・方策
交流・連携	窓口のつながりやすさ
交流・連携	団体の選択・接点がある
交流・連携	市民活動とビジネスの連携
資金調達	自主財源でやっているところは素晴らしい
資金調達	自主財源あった方がいい
資金調達	自立
資金調達	補助金が少ない
資金調達	会費を少なく、事業で収益を上げる
資金調達	寄附（社会的認知の必要性・社会的評価が高い）
資金調達	稼ぐ方（持続するため）といいことをする方（ボラティア） ⇒ 寄附文化必要
資金調達	産業創造財団
資金調達	楽しくて自主財源自立して活動
行政	行政がやれないことをNPOがやる
行政	行政には目的がある
行政	行政堅苦しいので（冷たい） ⇒ 自由に自主財源で
行政	行政はマイノリティを捨てるのが苦手
行政	引き継いでいくにつれて職員の熱意が下がる
行政	促進する側の認識がない
行政	行政も異動するから団体の信用が得にくい
行政	市民活動に市は何を求める？
行政	役所は協働の仕組みが作られていない
行政	協働しても梯子を外されることがある
行政	形にはならない行政の人がいるといい
行政	行政の担当はすぐ異動する
行政	行政とかかわると手間がかかる
行政	行政職員の異動が困る
行政	若いお母さんに公民館が渋い対応 ⇒ さいたま市主導で「子育て支援」大切にすれば今は優しくなった
行政	新人のとき、職員が市民と関われるものがない ⇒ 興味を持つ
行政	職員が守りに ⇒ 攻めの職員
行政	成功体験が少ない
行政	行政はやりやすいサポートを
情報	さぼっとの更新見ても現状の活動分からない ⇒ 情報が選択できればいい
情報	情報がまとまっていない
情報	情報を求めている
情報	情報が欲しい ⇒ 人が人を呼ぶ
情報	情報がない
情報	サポネットはあまり参考にならない
情報	過去のイベント・口コミ
情報	見学で参加してみる
情報	公的な情報発信
情報	外国人・障害のある人 ⇒ テクノロジー活用（メールから翻訳読み上げ）
情報	情報はつながりを作るために肝
情報	情報・つながりの窓口が分かりにくい
情報	市報活用
コロナ対応	オンラインの限界

コロナ対応	規模・フットワーク・オンラインの限界
コロナ対応	(上手く行ってないこと) コロナ対応